

平成20年度

環境報告書



クボタ精機株式会社

クボタ精機株式会社

1

工場概要

住所	〒587-0042 大阪府堺市美原区木材通4丁目15番5号
従業員数	379名
敷地面積	本工場 16248㎡(工業専用地域) 東工場 6717㎡(準工業地域)

2

事業概要

事業内容	農業用機械部品(油圧機器、その他精密機械部品)の設計及び製造と販売
主要製品	RTV900 搭載用 HST 一体型ミッション 他



3

工場変遷

昭和22年(1947)	旭産業(株)設立
昭和48年(1973)	旭産業(株)よりクボタ精機(株)に社名変更
昭和49年(1974)	(株)クボタ宇都宮、筑波工場向け部品供給のため、子会社関連クボタ精機(株)を設立
平成12年(2000)	事業構造改革元年と位置付け、HST*1 事業を立ち上げた。
平成13年(2001)	建設機械用油圧モータ、2002年度はKMA社*2向けバルブ事業を受注し、2003年度トランスミッション、2004年度はポンプ事業に進出し、油圧機器専門メーカーとして、事業構造改革、企業体質強化に全社をあげて強力に推進している。
平成13年(2001)	資本金を3億円から4.8億円に増資した。
平成18年(2006)	売上げ200億円を突破。

*1: HST = 静油圧無段変速機 (Hydro Static Transmission)

*2: KMA = Kubota Manufacturing of America corporation

Kubota

環 境 理 念

クボタ精機株式会社は、地域及び地球規模での環境保全の重要性を深く認識し、各種油圧製品の開発及び製造の各段階における環境との関わりを評価し、地域社会や地球環境に配慮した活動に取り込むことを、企業理念として実行して行きます。

環 境 方 針

- 1 原材料の購入から使用、廃棄、回収と生産・サービスの各段階において環境負荷の低減及び汚染の予防を図り、生産方法の改善、使用原材料の見直し等、長期的で幅広い観点からの施策を実施し、ISO14001に準拠した環境マネジメントシステムを構築、実施し、その継続的改善に努めます。
- 2 当社の環境側面に関係して適用可能な法令、条例及び同意したその他の要求事項について遵守し、管理基準を設定して、維持することに努めます。
- 3 本方針を実践するための具体的な目的、目標及び施策を明確にするとともに、その実施状況を定期的に確認し、見直しを行うよう努めます。
- 4 環境管理活動の重要性を全従業員に徹底し、環境保全に対する意識の向上に努めます。
- 5 地域での環境保全活動への参画、支援に積極的に取り組み、地域との共生に努めるとともに、本方針は、要求に応じ一般にも公開いたします。

2007年 7月 1日

代表取締役 社長 笹井 重夫

クボタ精機株式会社

クボタ精機株式会社

ISO14001 認証取得活動状況

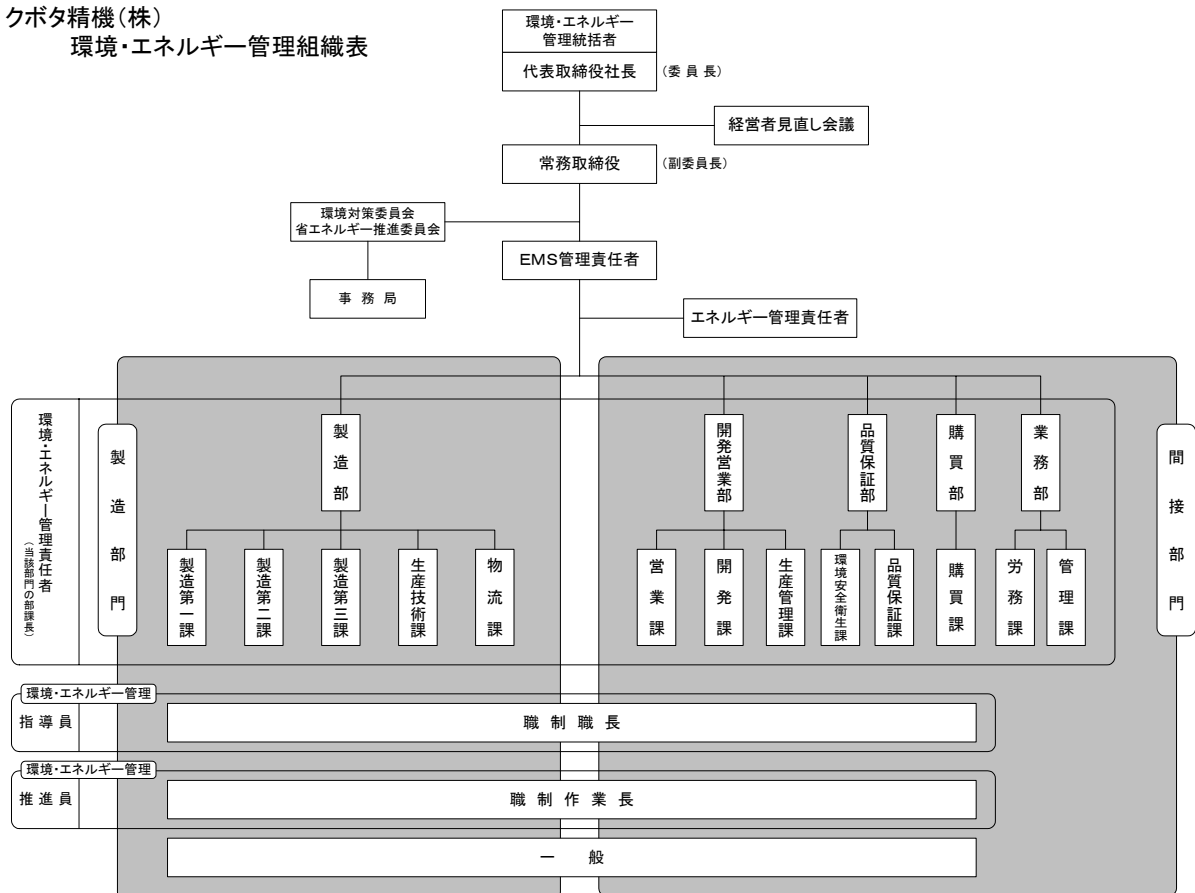
平成18年 7月 3日	小笠原社長によるキックオフ宣言
平成18年 7月14日～15日	内部環境監査員教育受講
平成18年 7月～12月	環境マニュアル等書類整備
平成19年 1月12日～13日	予備審査(ロイド社)
平成19年 2月13日～14日	ステージ1審査(ロイド社)
平成19年 3月14日～16日	ステージ2審査(ロイド社)
平成19年 3月20日	認証取得(YKA 4003899)
	ISO14001:2004 / JIS Q14001:2004
平成19年10月4日～5日	第1回 定期審査
平成20年 4月8日	第2回 定期審査



ISO14001 推進体制

クボタ精機(株)

環境・エネルギー管理組織表



クボタ精機株式会社

5

環境パフォーマンス

産業廃棄物の管理

1. 産業廃棄物の管理方法

(株)クボタの環境情報管理システム (KEDES) により、廃棄物管理を確実にする。



H18年度 産業廃棄物処理基本台帳
(マニフェスト管理台帳)

データ発信先

H18集計表

	予算	支払金額合計	残額
H18上期	7600000	6,287,300	1,312,700
H18下期	9110000	4,986,550	4,123,450
通期	16710000	11,273,850	5,436,150

1. 雑芥類 (1:2. 廃油水 (L), 3. 汚泥 (t), 4. パソコン・電化品, 5. 建設廃材 (m), 6. 一般廃棄物
7. カン類, 8. ダンボール, 9. 書類, 10. 新聞・雑誌, 11. プラスチック類 [ビニール] (m), 12. ガラス類, 13. 特管物, 99. その他

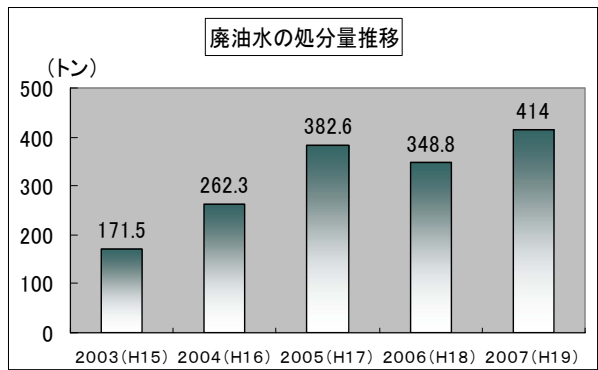
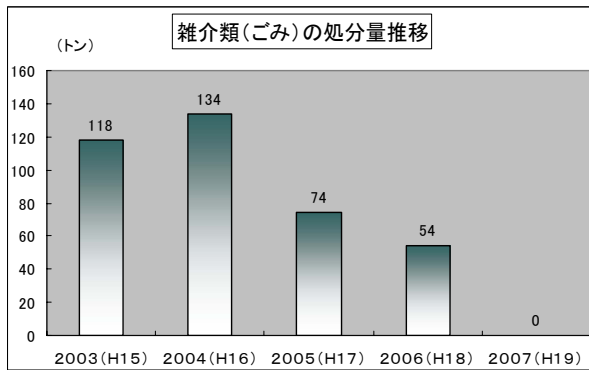
↑ 回収期限: B2-D票(交付日から90日・特管物は60日), E票(交付日から180日)

交付年月日	交付番号	交付担当者	処理業者	産業廃棄物名	処理数量	支払金額	消費税	トータル金額	B2票回収日	回収記録者	D票回収日	回収記録者	E票回収日	回収記録者	紛失理由
H18 4 5	20326793734	岡村 謙	429 ダイセキ	2 廃油水	4000	68,000	3,400	71,400	H18 5 7	62 岡村 謙	H18 5 7	62 岡村 謙	H18 5 7	62 岡村 謙	
H18 4 5	20326793723	岡村 謙	429 ダイセキ	2 廃油水	4000	68,000	3,400	71,400	H18 5 7	62 岡村 謙	H18 5 7	62 岡村 謙	H18 5 7	62 岡村 謙	
H18 4 5	20326793701	岡村 謙	429 ダイセキ	2 廃油水	8000	136,000	6,800	142,800	H18 5 7	62 岡村 謙	H18 5 7	62 岡村 謙	H18 5 7	62 岡村 謙	
H18 4 10	20326792684	岡村 謙	429 ダイセキ	1 雑芥類	2	100,000	5,000	105,000	H18 4 28	62 岡村 謙	H18 4 28	62 岡村 謙	H18 4 28	62 岡村 謙	
H18 4 10	20546117244	岡村 謙	641 関西特殊	2 廃油水	400	12,000	600	12,600	H18 4 10	62 岡村 謙	H18 4 10	62 岡村 謙	H18 4 10	62 岡村 謙	
H18 4 10	37047641610	岡村 謙	641 関西特殊	2 廃油水	900	27,000	1,350	28,350	H18 4 10	62 岡村 謙	H18 4 10	62 岡村 謙	H18 4 10	62 岡村 謙	
H18 4 10	20326793690	岡村 謙	429 ダイセキ	2 廃油水	4000	68,000	3,400	71,400	H18 5 7	62 岡村 謙	H18 5 7	62 岡村 謙	H18 5 7	62 岡村 謙	

2. 産業廃棄物の処分量推移

廃棄物名	単位	2004(H16)	2005(H17)	2006(H18)	2007(H19)
雑芥類 (ごみ)	t	134	74	54	0
廃油水	t	262.3	382.6	348.8	414.0
汚泥	t	20.6	8.7	19.2	19.13
建設廃材	t		3.7	0	0
プラスチック類	t		18.9	35	58.43
ガラス類	t		3	0	2.2
処分量計	t	416.9	490.9	457.0	493.8
粗付金額 (百万円)		3,903	5,086	5,753	5,605
処分量 / 粗付金額	%	0.082	0.085	0.078	0.088
前年度比	%	7.9	3.7	-8.2	12.8

クボタ精機株式会社



省エネルギー活動

【省エネルギー、温室効果ガスの削減】

平成17年度にエネルギー使用量が年間3,000KI以上の工場として、エネルギー管理指定工場第1種の指定を受け、省エネルギーに対し削減が義務づけられ、中期計画(3ヶ年)を毎年前年比1%(原単位)の削減計画を提出し推進している。

- ・スイッチ箇所には節電のフレートを貼付。
- ・休憩時間完全消灯の実施を継続。
- ・室内温度の適正管理。(夏 28 ・ 冬 20)
- ・エアコンフィルターの清掃管理を徹底。
- ・コンプレッサーの点検管理を徹底。(始業前)
- ・吐出圧、使用端圧の低減。
- ・社用車で同一方向の重複出張を削減し、燃料費の削減を図る。

等の活動をエネルギー管理表で毎月のエネルギー使用量を管理し、原油換算/粗付金額の前年比が1%削減されているかどうかチェックしている。

1) エネルギー管理表

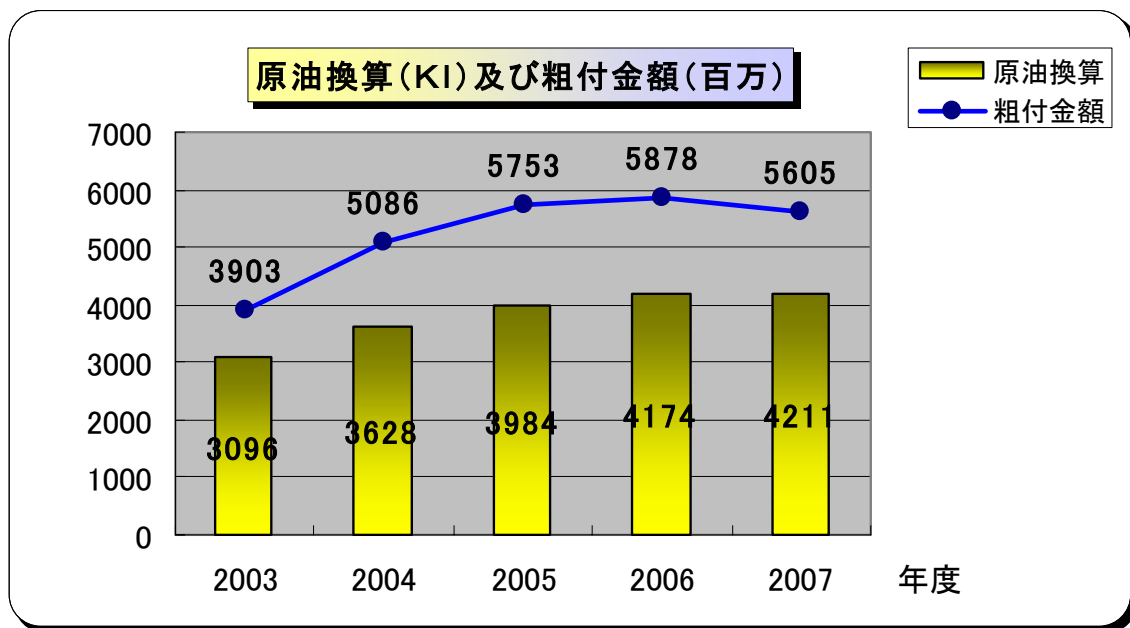
エネルギー管理表(データ抜粋)

年月	電力	ガス	燃料	水	その他	合計	前年比	削減率
2007.1	118,000	134,000	74,000	54,000	0	376,000	100%	0%
2007.2	115,000	130,000	70,000	50,000	0	365,000	97%	-3%
2007.3	112,000	125,000	65,000	45,000	0	347,000	92%	-8%
2007.4	108,000	120,000	60,000	40,000	0	328,000	87%	-13%
2007.5	105,000	115,000	55,000	35,000	0	310,000	82%	-18%
2007.6	102,000	110,000	50,000	30,000	0	292,000	78%	-22%
2007.7	98,000	105,000	45,000	25,000	0	273,000	73%	-27%
2007.8	95,000	100,000	40,000	20,000	0	255,000	68%	-32%
2007.9	92,000	95,000	35,000	15,000	0	237,000	63%	-37%
2007.10	88,000	90,000	30,000	10,000	0	218,000	58%	-42%
2007.11	85,000	85,000	25,000	5,000	0	200,000	53%	-47%
2007.12	82,000	80,000	20,000	0	0	182,000	48%	-52%
2008.1	78,000	75,000	15,000	0	0	168,000	44%	-56%
2008.2	75,000	70,000	10,000	0	0	155,000	41%	-61%
2008.3	72,000	65,000	5,000	0	0	142,000	37%	-66%
2008.4	68,000	60,000	0	0	0	128,000	34%	-71%
2008.5	65,000	55,000	0	0	0	120,000	31%	-76%
2008.6	62,000	50,000	0	0	0	112,000	29%	-81%
2008.7	58,000	45,000	0	0	0	103,000	27%	-86%
2008.8	55,000	40,000	0	0	0	95,000	25%	-91%
2008.9	52,000	35,000	0	0	0	87,000	23%	-96%
2008.10	48,000	30,000	0	0	0	78,000	21%	-101%
2008.11	45,000	25,000	0	0	0	70,000	19%	-106%
2008.12	42,000	20,000	0	0	0	62,000	17%	-111%
2009.1	38,000	15,000	0	0	0	53,000	14%	-116%
2009.2	35,000	10,000	0	0	0	45,000	12%	-121%
2009.3	32,000	5,000	0	0	0	37,000	10%	-126%
2009.4	28,000	0	0	0	0	28,000	7%	-131%
2009.5	25,000	0	0	0	0	20,000	5%	-136%
2009.6	22,000	0	0	0	0	12,000	3%	-141%
2009.7	18,000	0	0	0	0	3,000	1%	-146%
2009.8	15,000	0	0	0	0	0	0%	-151%
2009.9	12,000	0	0	0	0	0	0%	-156%
2009.10	8,000	0	0	0	0	0	0%	-161%
2009.11	5,000	0	0	0	0	0	0%	-166%
2009.12	2,000	0	0	0	0	0	0%	-171%
2010.1	0	0	0	0	0	0	0%	-176%

クボタ精機株式会社

2) エネルギー使用量の推移

エネルギー名		単位	2004(H16)	2005(H17)	2006(H18)	2007(H19)
エネルギー名	電気	KW	11,025,584	12,452,828	13,589,115	13,610,221
	都市ガス	m ³	661,974	719,363	636,311	667,716
	ガソリン	L	7,381	7,448	7,700	7,161
	軽油	L	12,175	10,198	10,036	8,305
	灯油	L	1,820	2,264	96	18
	LPG	m ³	2,990	3,374	3,728	4,123
原単位	原油換算	KL	3,628	3,984	4,174	4,211
	粗付金額	百万円	5,086	5,753	5,878	5,605
	原油換算／粗付金額	%	0.713	0.692	0.710	0.751
	対前年度比	%	0.899	0.971	1.026	1.058



クボタ精機株式会社

化学物質の管理

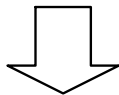
1. 化学物質の管理方法

1) 原材料・薬品等使用許可登録台帳

法人番号	200810171
代表者名	722-20021-1 代表
記号番号	

原材料・薬品等使用許可登録台帳

PRTR品名	品名	用途	性状	CAS番号	購入先	購入単位	単価	PRTR品名別使用量(トン)					PRTR品名別使用量(トン)							
								4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計			
PR001	スーパーUDT	クボタ純正オイル	油性		阪堺石油	200	32400													
PR002	M80B	クボタ純正オイル	油性		阪堺石油	200	31000													
PR003	DTE 24	工業用油	油性		阪堺石油	20	4900													
PR004	SHT 32	工業用油	油性		阪堺石油	200	48000													
PR005	0110	エクソール	油性		阪堺石油	20	4200													



2) 油類購入管理台帳

HT18年度
油類購入管理台帳
(新規採用又は変更する場合、化学物質使用申請書で承認を得ること。)

注) 購入金額集計は契約時見積金額及びドラムでの購入金額の為、変動有

製品No.	品番	品名	種別	購入先	購入単位	単価	4月度		5月度		6月度		7月度		8月度	
							購入量	購入金額	購入量	購入金額	購入量	購入金額	購入量	購入金額		
PR001	スーパーUDT	クボタ純正オイル	油性	阪堺石油	200	32400	14400	2332800	13400	2170800	13600	2203200	10000	1620000	13000	2106000
PR002	M80B	クボタ純正オイル	油性	阪堺石油	200	31000	400	62000	400	62000	400	62000	400	62000	400	62000
PR003	DTE 24	工業用油	油性	阪堺石油	20	4900	160	39200	120	29400	240	58800	80	19600		
PR004	SHT 32	工業用油	油性	阪堺石油	200	48000										
PR005	0110	エクソール	油性	阪堺石油	20	4200	1000	210000	340	71400	1200	252000	1400	294000	1200	252000

2. 化学物質の年間使用量 (K g)

化学物質名	H 17 取扱量	H 18 取扱量	H 19 取扱量
ポリオキシエチレン		1.5	0.5
ほう素	209	210	98.4
2-アミノエタノール	213	79.8	21.0
トルエン	30	40.8	668.2
スチレン	193	192	172.8
クロム及び3価クロム化合物	100	18.5	0
液状エポキシ樹脂	146	8.1	8.23
キシレン	268	64.9	609.7
エチルベンゼン	171	41.6	151.2
酢酸ブチル		8.2	4.8
1, 3, 5-トリメチルベンゼン		0.5	1.44
H C F C - 2 2 5		10.2	35.5
二硫化モリブデン		1.7	3.53
銅水溶性塩		0.5	0
セロソルブアセテート		0.1	0

3) PRTR 年間使用量

2008年度PRTR届書

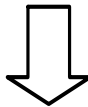
施設名: 作業シート2

事業所名	クボタ精機株式会社
種別	製造業
業種	機械器具製造業
法人	有限会社
町名	堺市
区名	東区
町名	東区
番地	1-1-1

作業シートとは、作業シート1で登録した第一種指定化学物質の取扱量を、事業所全体での合計値にまとめ、排出・移動量等の必要性の有無を確認するためのシートです。

PRTR品名	取扱量 (kg)	排出・移動量 (kg)	削減率 (%)
ポリオキシエチレン	1.5	0.5	66.7
ほう素	209	98.4	52.3
2-アミノエタノール	213	21.0	90.1
トルエン	30	668.2	222.7
スチレン	193	172.8	89.5
クロム及び3価クロム化合物	100	0	0
液状エポキシ樹脂	146	8.23	5.6
キシレン	268	609.7	227.5
エチルベンゼン	171	151.2	88.4
酢酸ブチル	8.2	4.8	58.5
1, 3, 5-トリメチルベンゼン	0.5	1.44	28.8
H C F C - 2 2 5	10.2	35.5	34.8
二硫化モリブデン	1.7	3.53	20.8
銅水溶性塩	0.5	0	0
セロソルブアセテート	0.1	0	0

3. H 1 8 年度取扱量届出有無



1 物質で年間 1 トン以内につき大阪府への届出必要なし

クボタ精機株式会社

▶▶ 天然資源枯渇の低減

- ・紙の消費量を前年比5%削減

目標の前年比5%削減が概ね達成できた。

- ・グリーン購入法に基づく購入の推進

再生紙導入率 100.0% (昨年度実績 41.2%)

(再生紙の導入は、定着した。)

グリーン調達率 89%



目的・目標の達成状況

(2007/04/01～2008/03/31)

	単位	目標	実績	達成率	評価	備考	前年比
エネルギー消費量(原単位)の低減 (前年比 1% 低減)	kl	702,965	751,320	93.12%	▲	目標値は前年比△1%	5.80%
産業廃棄物の低減 (前年比 5% 低減)	千円	10,709	11,689	90.84%		目標値は前年比△5%	-3.70%
紙の納入量を低減 (前年比 5% 低減)	kg	4,598.5	4,664.31	98.57%	△	目標値は前年比△5%	8.71%
社用車の燃料使用量を低減 (前年比 5% 低減)	ℓ	7,315	7,161	100.21%		目標値は前年比△5%	7.00%

自己評価の基準 : 目標超過達成 : 目標達成 : 目標概ね達成 : 目標未達成

環境関連法との対応状況

▶▶ 大気管理状況

当社として、大気汚染の特定管理施設は無く、大気汚染の管理の必要はありませんが、当社の社用車ステッカーを貼付ポスターを掲示しアイドリングストップ運度を展開しています。また、当社工場に出入りする協力会社の輸送用トラック等については、協力会社へ「環境保全活動への協力依頼」をし、アイドリングストップ運度を展開しています。

来年度から、自動車NOx・PM総量削減計画に伴い大阪府流入車規制が施行されます。当社工場に出入りする協力会社の輸送用トラック等について、指導等の管理強化を図っていきます。

▶▶ 水質管理状況

排水処理施設としての特定管理施設はありませんが、工場内から排水する所に油水分離槽を2機増設し、油分をシャットアウトすると共に、Ph管理をし、水質としてノルマルヘキサンの調査を実施した結果、全て規制基準値以内であり問題はありませんでした。

▶▶ 騒音・振動管理状況

振動発生施設は無く、コンプレッサー・マシニングセンタ・NC旋盤等の騒音発生施設からの騒音に対し、平成19年9月と11月に、敷地境界線7ヶ所で昼夜の測定を実施した結果、規制基準値をクリアしていました。

▶▶ 有害化学物質

当社で使用している化学物質の原材料・使用数量を化学物質使用量調査により調査し、P R T R法及び毒劇法による指定化学物質を確認して成分表及びM S D S(製品安全データ)を入手し、台帳で管理しています。年間の使用量は1t未満であるため、官公庁への届けての義務はありません。

【PCB管理】

コンプレッサー室にコンデンサー(3基)を専用缶に入れ保管し、点検を毎月実施(堺市に届出)(平成17年7月に日本環境安全事業(株)にPCBの処分を早期登録しています。)

また、環境管理部から微量PCBの取扱について指導があり、使用中の変圧器及びコンデンサーのメーカーに確認した結果、含有されている可能性があるとして報告された機器を分析した結果、事務所用動力変圧器に2.1mg/kgの含有が確認された。

第1棟西側のコンデンサー1基が未分析であるので更新時分析後処分する必要がある。

クボタ精機株式会社

【保管状況】



▶▶ 環境に関する苦情・要望について

環境に関連する苦情に関しては、発生しておりませんが、当社環境方針を要望された件数が2社ありました。

▶▶ 危険物取扱について

生産量増大に伴い、全体の油使用量が増加し、現在、貯蔵量の関係から油の種類を水溶性・難燃性に変更し、少量危険物取扱所として変更申請しております。また、消防署から工場の建屋の構造変更を改善命令として指摘され、平成20年6月末に全て完了する予定。

クボタ精機株式会社

8

環境コミュニケーション

▶▶ 地域の皆様との交流

- 1) 大阪木材工場団地協同組合 役員会(3回)
- 2) 大阪木材工場団地協同組合 消防訓練参加(12/5)
- 3) 美原防災協会 防災研修会 参加(2/13)
- 4) 大阪府流入車規制説明会 参加(3/7)



▶▶ 地域美化活動

- ・工場周辺の清掃活動
(冬季を除く年7回実施)

	実施日	実施職場	参加人数
1	4月25日	間接関係(業務部他)	23
2	5月30日	製造1課(11-1~11-5他)	32
3	6月27日	製造1課(10-2~10-6他)	46
4	7月25日	製造2課(14-1, 16-1他)	22
5	8月22日	製造2課及び購買部	27
6	9月26日	製造3課及び製造間接	32
7	10月24日	間接関係(業務部他)	29



クボタ精機株式会社

9

環境リスクマネジメント

環境リスクの最小化を図るために、作業標準に沿った作業を徹底するとともに設備点検や必要なメンテナンスを確実に実施しています。

▶▶ 危険物事故の発生を想定し、初期消火活動の部分訓練を実施

万一の危険物事故の発生を想定し、被害を最小限に抑えるための対応手順を定め定期的に対応訓練を実施しています。

場内で、危険物事故の発生を想定し、水消火器を用いて消火器の実射訓練を実施

(07/06/06 ~ 07/06/27 8回に分けて部分訓練を実施)



クボタ精機株式会社

▶▶ 火災が発生したのを想定して通報・避難及び消火訓練

07/11/28 に通報・避難・消火訓練（消防総合訓練）

火災が発生したと想定し、

消防署への通報 ~ 初期消火活動 ~ 避難訓練の総合訓練を実施。

（美原消防署・フジタカ防災設備）



消防署による災害時対応の注意事項を説明



避難状況



対策本部にて安否状況を確認

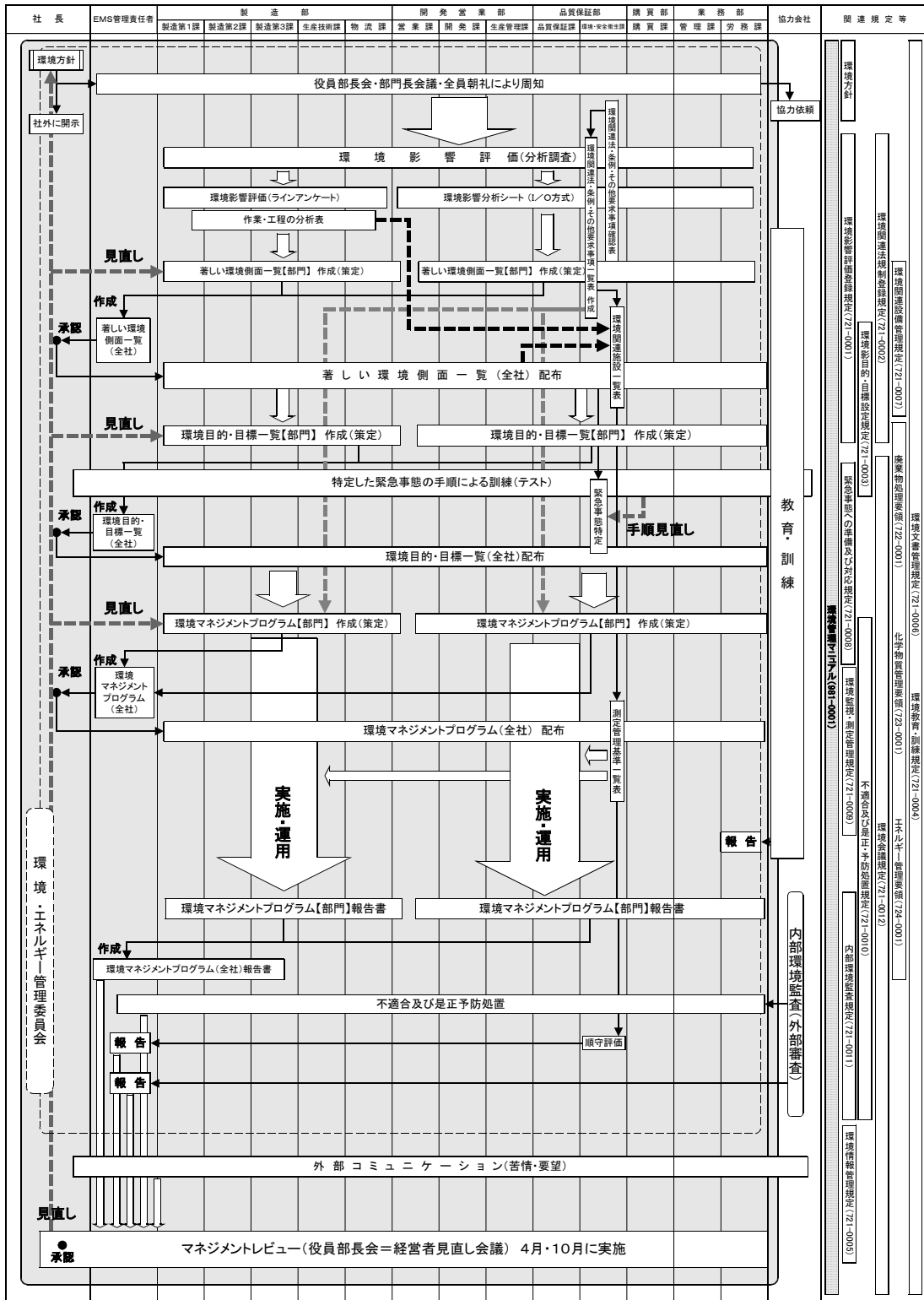


消火器による初期消火の要領を指導



エンジンポンプ車による作動テスト

環境マネジメントシステムフロー





クボタ精機株式会社

〒587-0042

大阪府堺市美原区木材通4丁目15番4号

品質保証部 環境・安全衛生課

2008年7月 発行